

出向く宮農レポート

～サトイモの栽培管理と防除について～

訪問日:5月20日



北部宮農センター
三浦 篤修



北部宮農センター
與語 哲志

今回は、長久手産直友の会の中島守さんの圃場へ訪問し、サトイモの管理と防除について案内をしました。

中島さんは、主にサトイモ、タマネギ、ジャガイモ、キュウリなどを栽培しています。

① 灌水の必要性

サトイモは、25～30℃程度の高温多湿を好み、乾燥を嫌います。特に7月中旬から9月にかけて灌水に心掛けましょう。

② 土寄せの実施

土寄せを行うと、芋が肥大するスペースができるため、月1回を目安に継続的に土寄せをしましょう。



③ 病害虫対策

・アブラムシ

葉から吸汁して生育不良をもたらすほかウイルス病であるモザイク病を媒介するため、すぐに防除する必要があります。アディオン乳剤やウララDFなどが有効です。

・セスジスズメ、ハスモンヨトウ

葉を食いつくし、放置すると生育に深刻な被害が出るため、初期防除が重要です。セスジスズメにはアディオン乳剤・ディアナSC、ハスモンヨトウはグレーシア乳剤・ブロフレアSC・トレボン乳剤などが有効です。

今回、中島さんの圃場では害虫は確認されませんでしたが、見かけた時は捕殺や農薬での初期防除をするように提案しました。

サトイモの病害虫対策

アブラムシ セスジスズメ 対策

アディオン乳剤

- 希釈倍数:2,000～3,000倍
- 使用量:100～300L/10a
- 使用時期:収穫7日前まで
- 使用回数:5回以内



ハスモンヨトウ 対策

グレーシア乳剤

- 希釈倍数:2,000～3,000倍
- 使用量:100～300L/10a
- 使用時期:収穫7日前まで
- 使用回数:2回以内



中島さんは、季節に合わせた様々な野菜を栽培しており、長久手グリーンセンター・瀬戸グリーンセンターの産直へ出荷しています。

ご来店の際はぜひ手に取ってみてください。

